



横代だより

ほめて育てる みんなで育てる よこしろっ子

電話 962-0357 文責 校長 堤 雅章

平成29年度 全国学力・学習状況調査の結果の報告と今後の取組について

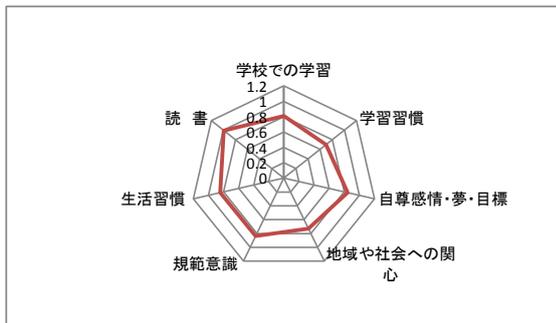
文部科学省による「全国学力・学習状況調査」について、平成29年4月18日(火)に、6年生を対象として、「教科(国語、算数)に関する調査」と「児童質問紙調査」を実施いたしました。この度、本年度の調査結果を分析し、今後の取組についてまとめましたので、お知らせいたします。学校の現状を知っていただくとともに、ご家庭での取組の参考にさせていただきたいと思っております。

なお、本調査により測定できるのは、学力の特定の一部であり、学校における教育活動の一側面に過ぎません。本校では、他の教科等も含め、総合的に学力向上を目指しています。

1. 教科に関する調査結果の概要

教科・区分	学力調査の分析(傾向や特徴)	全国平均正答率との比較
国語A	・全体的には全国平均正答率を下回ってしたが、言語についての知識・理解などの基本的な内容の定着が図られている。 ・書く力を問う問題に課題が見られる。書くことを習慣化し、自分の考えを表現する活動を一層充実させる必要がある。	下回っている
国語B	・全体的には全国平均をやや下回っていたが、各領域ともに確実な力が付いてきている。 ・文章の内容について、根拠を明確にして、自分の考えを書く問題に課題が見られる。	下回っている
算数A	・全体的に全国平均を下回っており、特に「量と測定」領域に課題が見られる。 ・計算についての力が不足しており、基礎的な計算力をつける必要がある。	下回っている
算数B	・全国平均正答率を下回っており、特に「図形」領域に課題が見られる。 ・記述式の問題形式の正答率が低く、無回答率が高かった。	下回っている

2. 学校での学習活動、家庭での生活習慣等に関する質問紙調査結果の概要



質問紙調査の結果分析

- ・授業のはじめに「めあて」が示され、授業の最後に「振り返り」の活動があるという学習過程のスタンダード化を進めてきましたが、全国平均をやや下回っています。
- ・家で宿題に取り組む児童の割合が全国平均をやや下回るとともに、1時間以上家庭学習をしている児童の割合も、全国平均を下回っています。
- ・「普段(月～金曜日)、1日当たりのゲームをする時間が60分未満」と答えた児童の割合が、全国平均を下回っています。
- ・「毎日、同じくらいの時刻に寝ている」と回答した児童の割合が、全国平均を下回っています。
- ・「音読・読書」の取組や「読書のすすめ」の取組の結果、「読書が好き」と回答した児童の割合が増えています。

いい

① 教科に関する取組(全校で・学年で・学級で)

- ◎学習規律の徹底・学習習慣の確立
 - ・チャイム席(時間を守ること)に重点的に取り組みます。
 - ・正しい姿勢で学習します。
- ◎授業の充実
 - ・一単位時間の中に「めあて」「まとめ」「振り返り」のある学習課程に引き続き取り組みます。特に「振り返り」の内容の充実を図ります。
 - ・一単位時間の中に「話し合う活動を設定し、自己表現力(コミュニケーション能力)を高めます。
 - ・デジタル教科書などのICTの活用を図り、視覚に訴える授業を展開します。
 - ・国語や算数では、授業のはじめなどに音声計算やフラッシュカードなどに取り組みます。繰り返し取り組むことにより基礎基本の定着を図ります。
 - ・スモールステップでの指導を大切に、その指導過程で児童を認め・励ましなが達成感をもたせることにより、児童の自己肯定感を高めます。
- ◎学力向上のための朝自習の内容の充実
 - ・全校で一斉に学力向上タイムに取り組みます。【8:35～8:45の10分間】
 - 月曜日(音読)、火曜日(算数)、水曜日(国語)、木曜日(読書・読み聞かせ)、金曜日(算数)

② 家庭生活習慣等に関する取組

- ◎基本的な生活習慣の定着
 - ・「早寝、早起き、朝ごはん」を給食だよりや保健だよりで保護者に啓発します。
 - ・「あいさつ運動」に全校で取り組みます。
 - ・懇談会など、機会を捉えて保護者の皆様にお話します。
- ◎家庭学習のスタンダード化
 - ・基本的に毎日宿題を出します。(基礎的・基本的内容の定着、学習習慣の確立のために)
 - ・低学年・20分、中学年・40分、高学年・60分を目安に家庭学習に取り組みましょう。
- ◎保護者への啓発
 - ・学校HPや学校通信などで全国学力・学習状況調査の課題と課題解決に向けての取組を、保護者や地域の皆様にお知らせします。